



平成 26 年 5 月 28 日

各 位

会社名 株式会社メディネット  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 邦彦  
 (コード番号:2370 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役管理本部長 原 大輔  
 (TEL 045-478-0041)

### 「CTLと $\gamma$ $\delta$ T細胞の同時誘導方法」に関する特許が日本で成立

株式会社メディネットは、「CTLと $\gamma$   $\delta$  T細胞の同時誘導方法」に関して、日本での特許が成立いたしましたのでお知らせします。

免疫細胞治療においては、より効果の高い細胞を培養・利用することが非常に重要であり、現在も様々な免疫細胞を用いた培養技術が開発されています。しかしながら、体外で複数の免疫細胞を同時に培養するには、その種類の数だけ培養工程を同時並行で実施しなければならず、工程が煩雑化するという課題があり、また、治療効果が有するだけの細胞数を培養するのは非常に困難とされています。

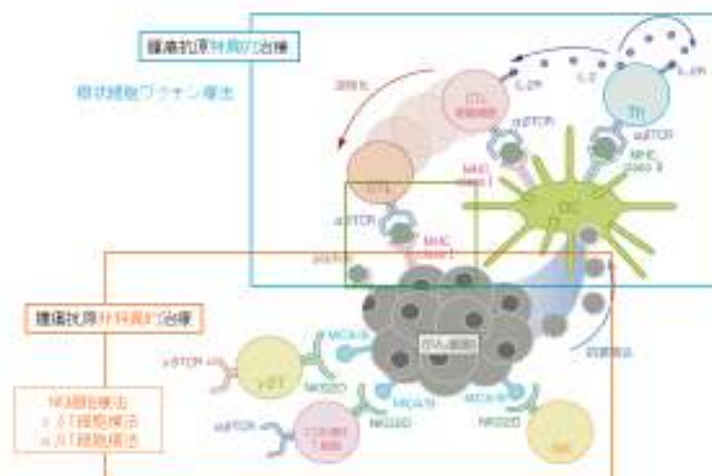
本特許技術は、これまで同時培養が難しいとされてきた、がん細胞を狙い撃ちする役割を持つT細胞(細胞傷害性T細胞、CTL)と $\gamma$   $\delta$  T細胞を体外で同時に培養する技術で、この技術を用いることで、これまで煩雑化していた培養工程を簡便にし、また、効率よく細胞を増殖することができるようになります。

- ・発明の名称: CTLと $\gamma$   $\delta$  T細胞の同時誘導方法
- ・登録番号: 特許 5524056
- ・特許権者: 株式会社メディネット

今後、本特許技術は細胞医療製品や免疫細胞治療への応用も考えられることから、実用化のための開発を目指し、共同研究を含めた開発を推進してまいります。

なお、本件につきましては、業績に与える影響は軽微であると見込んでおりますが、適時開示の必要性が生じた場合は、その内容を速やかに開示いたします。

以上



【免疫細胞治療の基本的な仕組み】